

湖周行政事務組合ごみ処理施設建設事業に係る事後調査報告書の概要について

(1) 事業の概要

- ① 事業者 湖周行政事務組合
 ② 事業実施区域 岡谷市内山
 ③ 事業の規模等 廃棄物焼却施設（ごみ焼却施設）の建設 処理能力 110 t / 日
 ④ 関係地域 岡谷市、塩尻市、上伊那郡辰野町

(2) 事業の経過

- H23. 8 環境影響評価方法書提出
 H25. 11 環境影響評価書公告縦覧
 H25. 11 対象事業着手通知書の提出
 H26. 10 事後調査報告書の提出（現在まで4回提出）
 H28. 12 供用開始

(3) 事後調査報告書の概要

○ 事後調査の項目等 (P. 2-1、2-5)

調査項目	調査期間	調査場所・地点数
<ul style="list-style-type: none"> 二酸化硫黄 二酸化窒素 浮遊粒子状物質 微小粒子状物質 ダイオキシン類 	各季 7日間 冬季:平成29年 2月 1日(水)～ 2月 7日(火) 春季:平成29年 4月12日(水)～ 4月18日(火) 夏季:平成29年 7月26日(水)～ 8月 1日(火) 秋季:平成29年10月 4日(水)～10月10日(火)	St. 1 諏訪湖周CC St. 2 樋沢地区
<ul style="list-style-type: none"> 塩化水素 	各季 3日間 冬季:平成29年 2月 1日(水)～ 2月 4日(土) 春季:平成29年 4月12日(水)～ 4月15日(土) 夏季:平成29年 7月25日(火)～ 7月28日(金) 秋季:平成29年10月 3日(火)～10月 6日(金)	St. 3 勝弦峠 St. 4 岡谷市役所 (計4地点)
<ul style="list-style-type: none"> カドミウム及びその化合物 水銀 鉛及びその化合物 	各季 7日間 冬季:平成29年 1月31日(火)～ 2月 7日(火) 春季:平成29年 4月12日(水)～ 4月19日(水) 夏季:平成29年 7月25日(火)～ 8月 1日(火) 秋季:平成29年10月 3日(火)～10月10日(火)	

- 各調査地点における地上気象を把握するため、4季（各季7日間）の調査を同一期間に実施。

○ 環境基準との比較 (P. 2-25)

- 全ての調査項目において環境基準値を下回っており、かつ、環境基準値と比べて十分に低い濃度であった。
- 新ごみ処理施設の稼働による大気質の影響は小さい。

○ 評価書の調査結果との比較 (P. 2-26)

- 年平均値について、ほとんどの調査項目において事後調査結果が下回っていた。
- 新ごみ処理施設の稼働による大気質の影響は小さい。

【要因】・ 新ごみ処理施設の排ガス濃度（自主保証値）を、旧岡谷清掃工場よりも厳しい値として設定しており、大気環境が改善している。

○ 評価書の予測結果との比較 (P. 2-27)

- 年平均値について、全ての調査項目において事後調査結果が予測結果を下回っていた。
- 新ごみ処理施設の稼働による大気質の影響は小さい。

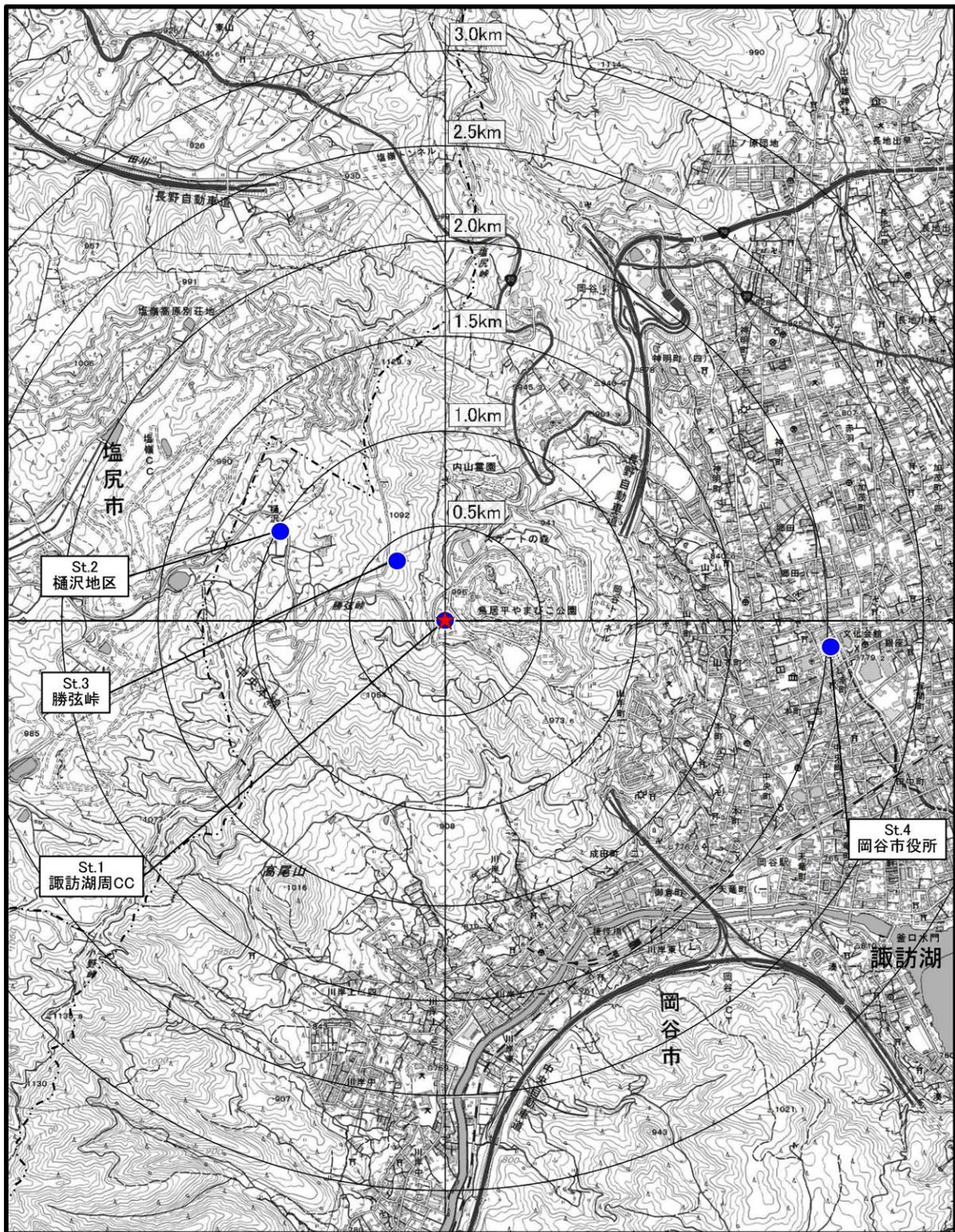
【要因】・ 危険側の予測とするため、大気拡散計算時の排ガス濃度に計画値を用いた、予測値の窒素酸化物を全て二酸化窒素に変換するといった予測条件で計算した。
 ・ 事後調査期間中の施設の排ガス濃度は、評価書当時の計画値よりも低く設定した自主保証値をさらに下回る濃度で運転していた。

○ 事後調査と同一期間に測定された一般局・自排局との比較 (P. 2-28)

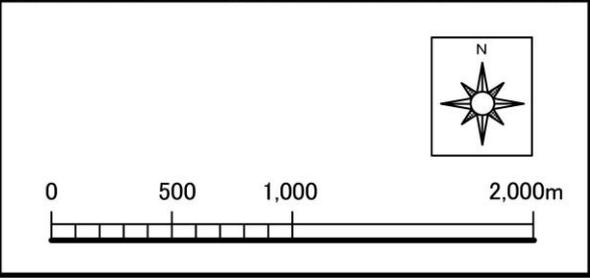
- 事後調査結果の各調査項目の濃度は、以下のとおり一般局・自排局と同程度であった。
- 新ごみ処理施設の稼働による大気質の影響は小さい。

○ 総合評価 (P. 2-29)

上記より、全ての調査項目において、施設の稼働による影響が確認できる濃度ではないことから、周辺環境へ与える影響は小さいと評価。



凡 例	
●	:大気質(地上気象)事後調査地点
★	:事業実施区域
-----	:市町村界



原図：国土地理院の数値地図25000（地図画像）を掲載